

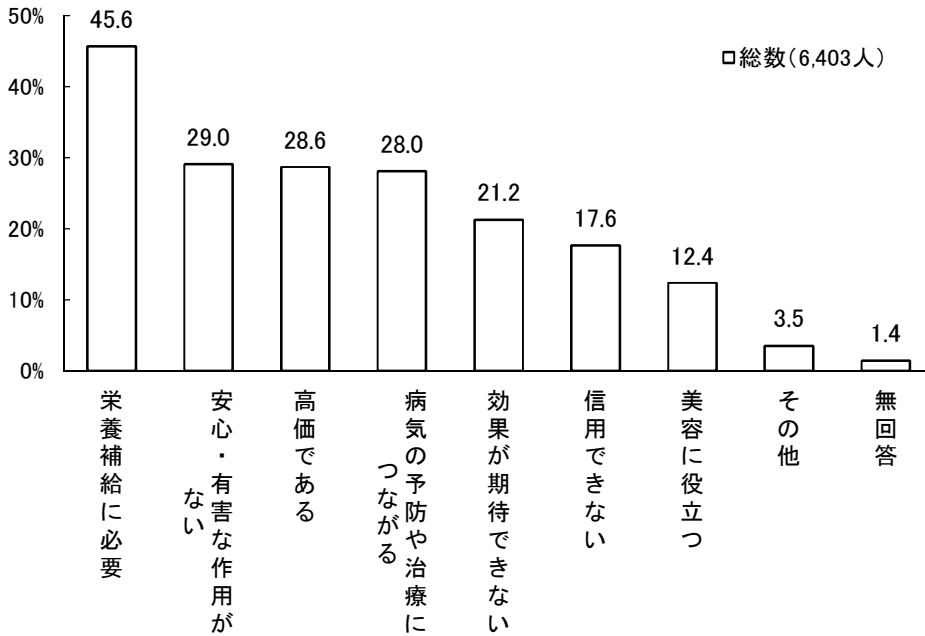
第2章 健康食品の使用状況

1 健康食品のイメージ[複数回答]

健康食品のイメージを聞いたところ、「栄養補給に必要」と答えた割合が最も高く 45.6%、次いで「安心・有害な作用がない」が 29.0%、「高価である」が 28.6%、「病気の予防や治療につながる」が 28.0%と続いている。(図Ⅱ-2-1)

問 あなたの考える健康食品のイメージはどのようなものですか。

図Ⅱ-2-1 健康食品のイメージ[複数回答]



注) その他の意見(計 223 件)としてとりあげられた主なものは、以下のとおりである。

- 特になし・興味なし(66 件)
- 必要ない(11 件)
- 信用できるものと信用できないものがある(11 件)
- 食事で十分(10 件)

(1) 健康食品のイメージ[複数回答]－性・年齢階級別

健康食品のイメージは、「栄養補給に必要」の割合が、男女とも高く4割を超えている

健康食品のイメージについて性・年齢階級別にみると、男女とも、「栄養補給に必要」の割合が最も高く、それぞれ44.0%、47.0%となっている。

また、「美容に役立つ」の割合は女性19.1%、男性4.7%で女性の方が高く、特に20代～30代女性の割合が高くなっている。(表Ⅱ-2-1)

表Ⅱ-2-1 健康食品のイメージ[複数回答]－性・年齢階級別

	総 数	な 安 い 心 ・ 有 害 な 作 用 が	つ 病 な が る の 予 防 や 治 療 に	栄 養 補 給 に 必 要	美 容 に 役 立 つ	効 果 が 期 待 で き な い	信 用 で き な い	高 価 で あ る	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (6,403)	29.0	28.0	45.6	12.4	21.2	17.6	28.6	3.5	1.4
男	100.0 (2,994)	30.5	27.5	<u>44.0</u>	<u>4.7</u>	21.7	18.2	25.1	3.3	1.1
20～29歳	100.0 (289)	25.3	20.8	46.4	5.5	20.8	22.5	23.2	3.1	0.7
30～39歳	100.0 (455)	24.0	21.3	53.2	9.7	20.0	16.7	27.3	3.5	0.4
40～49歳	100.0 (589)	30.9	32.3	45.2	6.5	18.0	16.8	27.2	2.7	0.7
50～59歳	100.0 (418)	34.7	31.1	42.8	5.7	21.1	13.2	28.2	2.4	0.5
60～69歳	100.0 (516)	36.2	27.3	43.0	2.9	23.8	18.0	24.6	2.7	1.4
70～79歳	100.0 (516)	29.8	28.1	38.4	0.4	26.9	22.5	21.3	4.5	2.1
80歳以上	100.0 (211)	30.3	28.0	36.5	0.5	20.9	19.9	20.9	5.7	2.8
女	100.0 (3,409)	27.7	28.5	<u>47.0</u>	<u>19.1</u>	20.8	17.1	31.8	3.6	1.6
20～29歳	100.0 (300)	27.0	21.3	53.0	<u>32.0</u>	18.3	16.3	33.7	2.3	0.7
30～39歳	100.0 (457)	26.7	25.4	58.9	<u>32.2</u>	16.2	12.3	32.4	2.4	0.7
40～49歳	100.0 (620)	28.7	29.8	50.8	26.8	17.4	12.7	35.6	3.4	0.3
50～59歳	100.0 (486)	24.7	28.0	51.2	21.8	20.8	16.0	35.8	2.3	0.8
60～69歳	100.0 (596)	29.7	29.2	41.8	10.7	25.2	21.8	31.0	3.2	1.2
70～79歳	100.0 (643)	28.0	32.2	39.0	9.2	25.8	23.2	29.9	4.4	3.7
80歳以上	100.0 (307)	28.3	29.6	36.2	4.2	17.9	13.7	20.5	8.5	3.9

2 健康食品の使用実態と使用のきっかけ

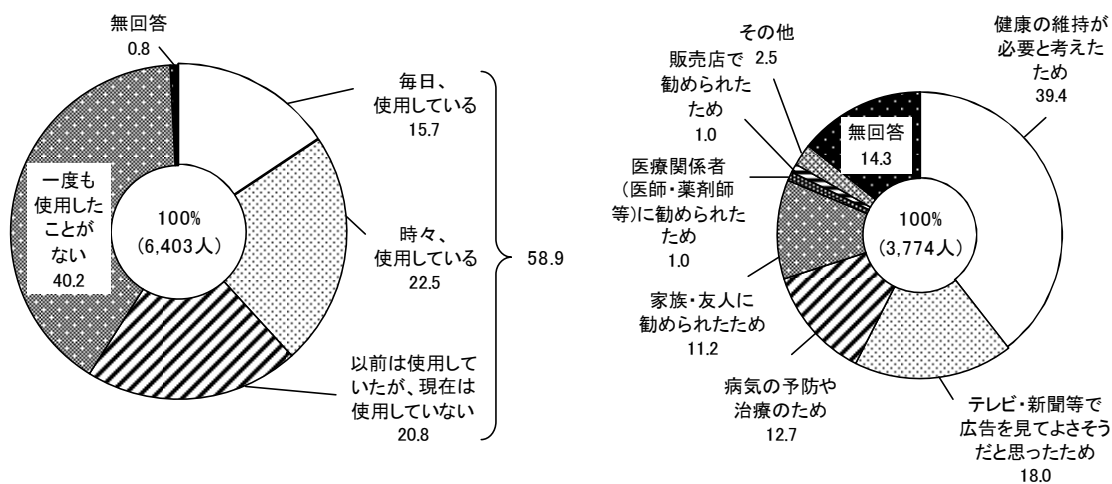
これまでに健康食品を使用したことがあるか聞いたところ「毎日、使用している」人が15.7%、「時々、使用している」人が22.5%、「以前は使用していたが、現在は使用していない」人が20.8%となっており、これらを合わせた健康食品を使用した人の割合は58.9%であった。

また、健康食品を使用した人(3,774人)に、使用するきっかけは何か聞いたところ「健康の維持が必要と考えたため」の割合が最も高く39.4%、次いで「テレビ・新聞等で広告を見てよさそうだったため」が18.0%と続いている。(図Ⅱ-2-2)

問 あなたは、これまでに健康食品を使用しましたか。

問 あなたが健康食品を使用するようになったきっかけは何ですか。

図Ⅱ-2-2 健康食品の使用の有無と健康食品使用のきっかけ



注) 統計比率を合算した比率(58.9%)は、個々の数値を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

注) その他の意見(計94件)として

あげられた主なものは、以下のとおりである。

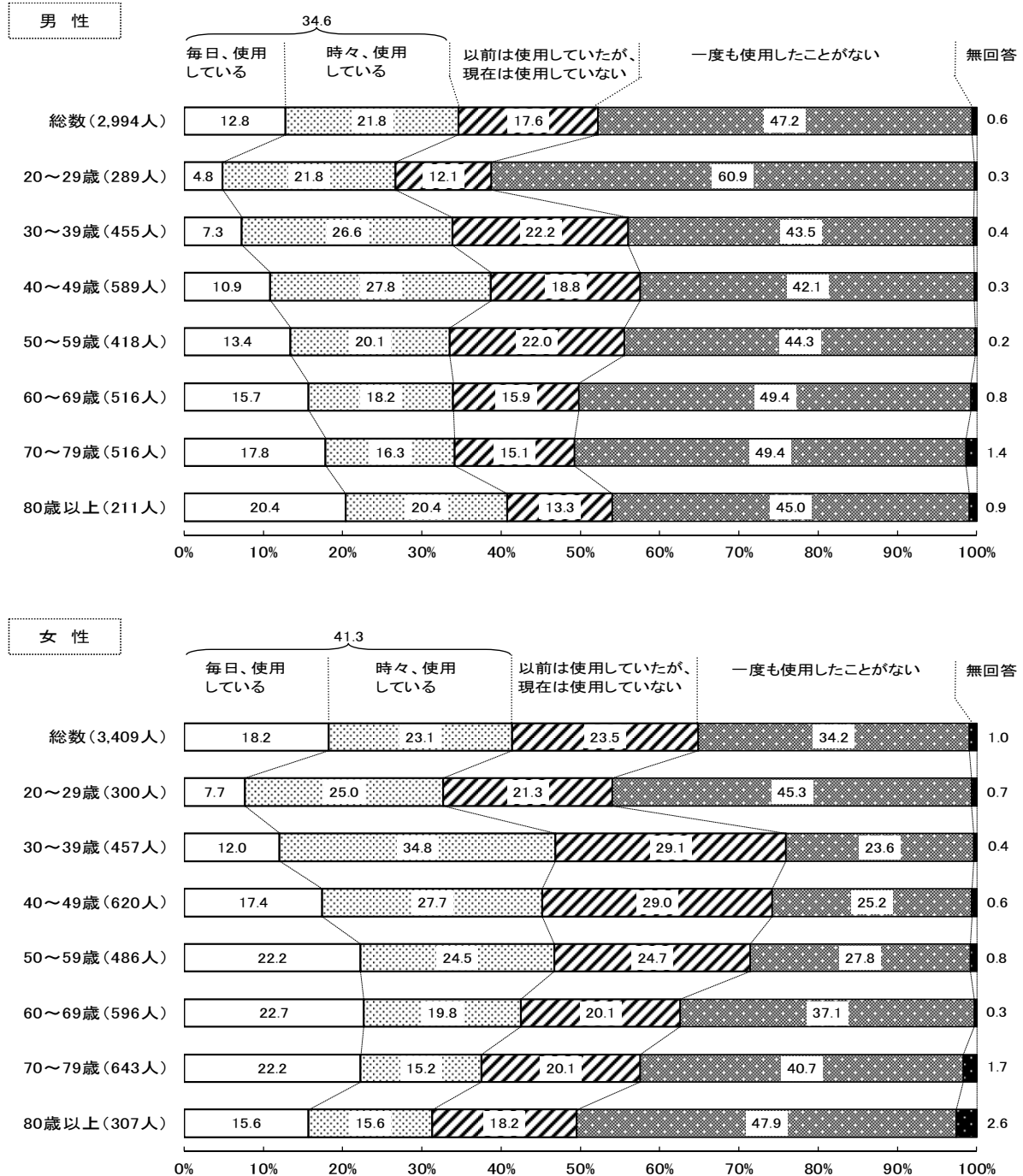
- 美容・ダイエット(12件)
- なんとなく、たまたま(11件)
- もらったため(11件)

(1) 健康食品の使用実態—性・年齢階級別

健康食品を使用している人の割合は、男性より女性の方が高い

性・年齢階級別にみると、「毎日、使用している」「時々使用している」を合わせた割合は、男性 34.6%、女性 41.3%と、女性の方が高くなっている。(図Ⅱ-2-3)

図Ⅱ-2-3 健康食品の使用実態—性・年齢階級別



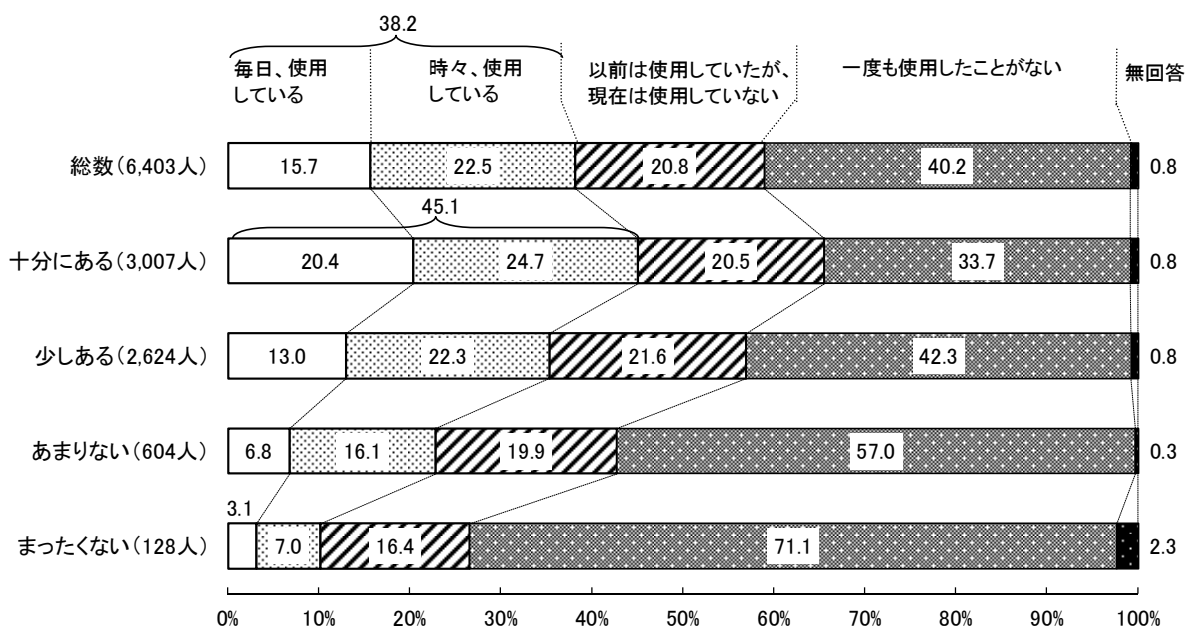
(2) 健康食品の使用実態－食生活・生活習慣改善意欲別

食生活・生活習慣改善意欲が十分にある人のうち、健康食品を使用している人の割合は4割を超えている

健康食品の使用実態を食生活・生活習慣改善意欲別にみると、改善意欲が十分にある人は、「毎日、使用している」と「時々、使用している」を合わせた割合が45.1%と最も高くなっている。

一方で、食生活・生活習慣改善意欲がまったくない人は、「一度も使用したことがない」割合が71.1%と最も高くなっている。(図Ⅱ-2-4)

図Ⅱ-2-4 健康食品の使用実態－食生活・生活習慣改善意欲別

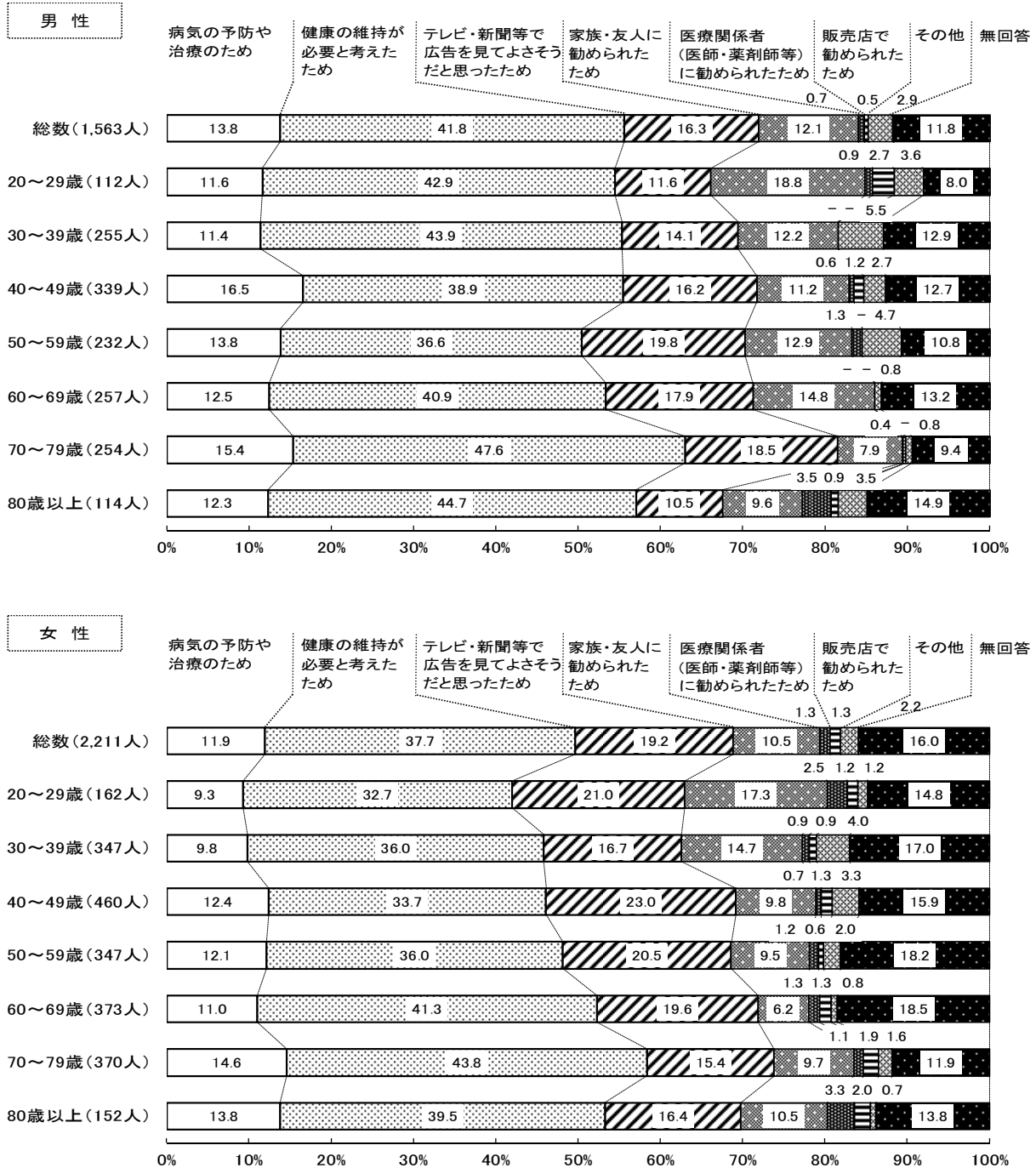


(3) 健康食品の使用のきっかけ性・年齢階級別

男女ともすべての年代で、「健康の維持が必要と考えたため」の割合が最も高い

健康食品の使用のきっかけを性・年齢階級別にみると、すべての年代で、「健康の維持が必要と考えたため」の割合が最も高くなっている。(図Ⅱ-2-5)

図Ⅱ-2-5 健康食品の使用のきっかけ性・年齢階級別

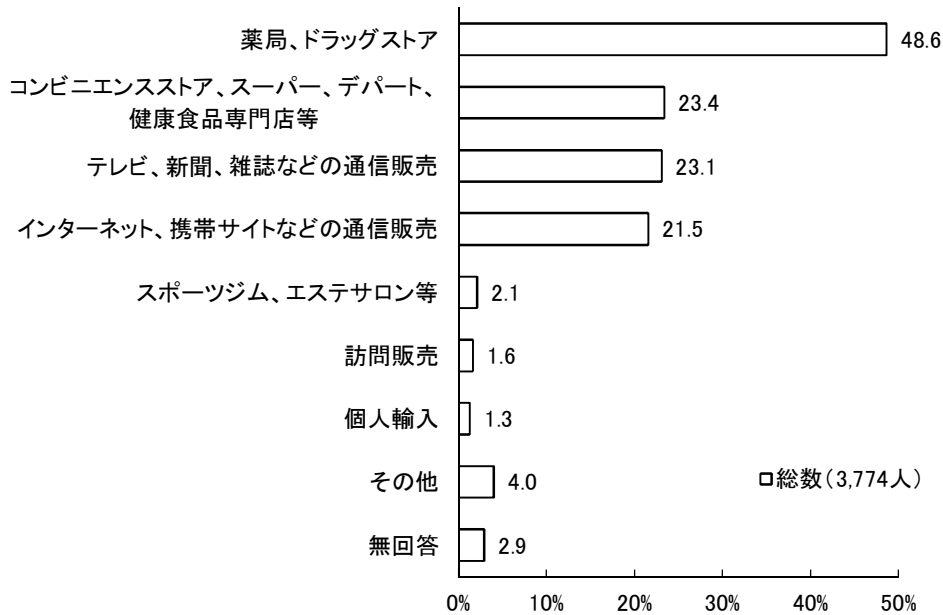


3 健康食品の購入先[複数回答]

健康食品を使用した人（3,774人）に、健康食品の購入先を聞いたところ、「薬局、ドラッグストア」の割合が最も高く、48.6%となっている。（図Ⅱ-2-6）

問 あなたはどこで健康食品を購入していますか。

図Ⅱ-2-6 健康食品の購入先[複数回答]



注) その他の意見(計151件)としてあげられた主なものは、以下のとおりである。

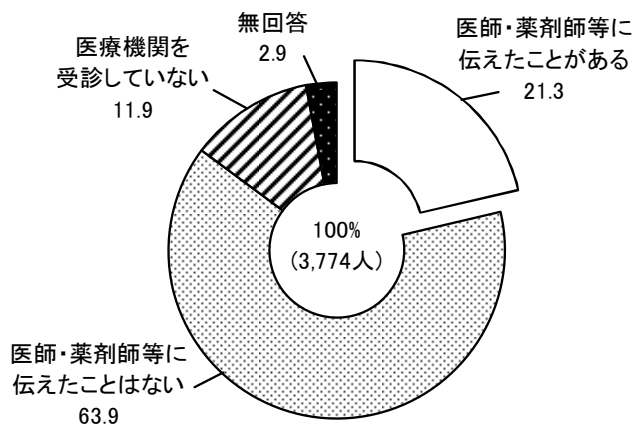
- 友人・知人(38件)
- 家族・親戚(26件)
- 試供品等でもらった(14件)

4 健康食品の使用に関する医師・薬剤師等への申告

健康食品を使用した人（3,774人）に、医療機関を受診した際に、健康食品を使用していることを医師・薬剤師等に伝えているか聞いたところ、「医師・薬剤師等に伝えたことがある」の割合は、21.3%、「医師・薬剤師等に伝えたことはない」の割合は63.9%となっている。（図Ⅱ-2-7）

問 医療機関を受診した際に、健康食品を使用していることを医師・薬剤師等に伝えていますか。

図Ⅱ-2-7 健康食品使用に関する医師・薬剤師等への申告



5 健康食品の使用による体の不調の有無とその症状[複数回答]、医療機関の受診の有無

健康食品を使用した人(3,774人)に、健康食品の使用によって、体の不調を感じたことがあるか聞いたところ、「体の不調を感じたことがある」の割合が4.2%、「体の不調を感じたことはない」の割合が93.0%であった。(図Ⅱ-2-8)

体の不調を感じたことがある人(160人)にその症状を聞いたところ、「下痢・腹痛」が33.8%、「発赤・発疹・体のかゆみ」が23.1%であった。(図Ⅱ-2-9)

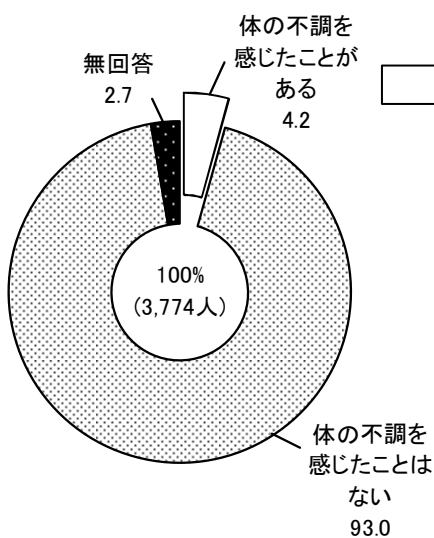
さらに、その症状で医療機関を受診したかどうか聞いたところ、「受診した」人は、30.6%であった。(図Ⅱ-2-10)

問 あなたは健康食品を使用して体の不調を感じたことはありますか。

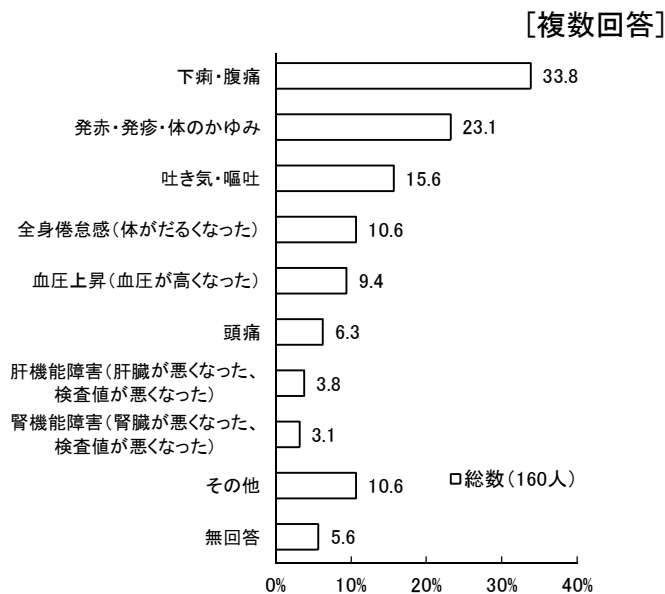
問 それは、どのような症状でしたか。

問 その症状で、医療機関を受診しましたか。

図Ⅱ-2-8 健康食品による体の不調の有無



図Ⅱ-2-9 健康食品による体の不調(症状)



図Ⅱ-2-10 健康食品による体の不調による

医療機関受診の有無

